

平成 29 年 7 月部課長会（議事要旨）

1. 市長訓辞

①市民功労

- ・市民の方々が、生駒市の為に汗をかいていただいていることにアンテナを高くしておきたいと考えている。そのことは、市民との協創にもつながるので、篤行について積極的に表彰を行いたい。市民憲章推進協議会からの推薦だけではなく、それ以外にも担当課からも積極的に内申を行っていただきたい。

②議会からの意見、提言への対応

- ・議会からの意見、提言には真摯に対応いただきたい。行政のプロとして、予算などに配慮した対応をお願いしたい。できないことにはできないと毅然と対応する反面、尊重すべき意見、提言については真摯に対応するなど、メリハリをつけ、秘書課や政策企画推進課にも相談して対応いただきたい。

③本日のテーマ「情報の発信」

- ・今の生駒市には素晴らしい取組が増えてきたが、PR が不十分。特に広報は、SNS やホームページ、報道発表などあらゆる手段を駆使して、迅速かつ適切に実施していただきたい。内容をいかに市民に理解していただき、最終的には市民自ら行動していただく「協創」につなげるということが重要である。

2. 理事者から

禁煙について（副市長）

〈概要〉

- ・受動喫煙防止対策について説明

3. 事例研究・意見交換

生駒市のシティプロモーション（いこまの魅力創造課）

〈概要〉

- ・別添パワーポイント資料
- ・事例発表（人事課）（消防本部総務課）（市民課）

情報の発信（広報広聴課）

〈概要〉

- ・広報の基本的な考え方

- ・報道発表、ホームページ、SNS の重要性
- ・積極的な情報の発信を
- ・事例発表（経済振興課）（子育て支援総合センター）

【主な意見】

- ・市民部は法律に基づいた業務が多い中で、ふるさと納税や婚姻届に生駒市のシティプロモーション要素を盛り込み PR できたことで、担当課職員の団結力が高まった。
- ・先進的な取組や魅力的な取組が多い生駒市では、取組がメディアに取り上げられることは職員の励みになると思う。そのためにも、管理職から積極的に情報発信に努めることは重要である。

まとめ

〈概要〉

（水道事業管理者）

- ・シティプロモーションにつながる政策を考えることが大切である。
- ・シティプロモーションの事例や取組について、苦労したことや工夫したことなどを職員の中でも情報共有することが重要である。

（副市長）

- ・シティプロモーションは、広報広聴課やいこまの魅力創造課だけが取り組むことではない。開発や建築の分野を始めとしたハード系の事業者への PR も重要である。
- ・全国紙やテレビ等で取り上げてもらうための効果的な情報発信には、世論が何を求めているかを把握することが重要となる。そのためにも、普段から新聞をよく読んで情報収集に努めていただきたい。
- ・記者からの突然の取材にも、広報広聴課と連携しつつ丁寧に対応してほしい。
- ・市役所のホームページは毎日一回は閲覧して（特に自分自身の所管は必ず）、常に最新情報をチェックしていただきたい。

（市長）

- ・管理職の皆様には、広報広聴管理者となることの重要さをしっかりと考えていただきたい。
- ・市外への情報発信も大切だが、まずは市民に市政情報を広く知ってもらう、定住希望率を上げることが重要。そのためにも、積極的に情報発信していただきたい。
- ・パワーポイントのスライドの中で、「ファンを獲得」することがどうシティプロモ

- ーションにつながるのか、という疑問が出席者から出ても良かったのではないか。
- ・生駒市の認知度向上と人口増加をどうつなげるかという具体策が必要である。
 - ・管理職や職員が、情報の発信の目的やターゲットを具体的に把握するためにも、本日の発表内容をしっかりと理解していただきたい。
 - ・事例の発表をして終わるのではなく、意見交換の時間をもっと多く取っていただき、活発な議論を展開したい。
 - ・広報やシティプロモーションの今後の進め方については、改めて協議をしていきたい。